

# ペルシャ人のサルマン

## 元ゾロアスタ 教徒（前半）：ゾロアスタ 教からキリスト教へ

:

明:  
最も 大な教友の一人で、元ゾロアスタ 教徒（マギ教徒）だったペルシャ人サルマンが、真の神による宗教の探求の旅について ります。第一部：ゾロアスタ 教からキリスト教へ。

目:[事 言者ムハンマド彼の教友たちの物](#)

目:[事新改宗者ムスリムの逸 著名人](#)

より: ペルシャ人のサルマン

日 7 Feb 2014

集日 17 Feb 2014



言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）の祝福された教友、「ペルシャ人サルマン」が、イスラ ムへの旅について ります。

“私はイスファハン[\[1\]](#)

のジャイとして知られる町出身のペルシャ人です。私の父は町 でした。彼にとって私は、神の被造物の中で最も される者でした。私への深い 情から、彼は灯した火の管理[\[2\]](#)

を私に任せるほどでした。彼はそれが消えてしまわないように努力したものです。

私の父は の肥沃な土 を所有していました。ある日、建 作 に忙しかった彼は、私が に行き、彼の代わりに 作 をするよう言いました。への途中、私はキリスト教の教会を通りかかりました。そこからは祈りを捧げる人々の声が こえました。父は私を家の中に じ めていたため、私は人々が外でどういう暮らしをしているのか知りませんでした。そのため、（教会の）人々を通りかかり、彼らの声を いた私は、その中に入って彼らが何をしているのか てみることにしました。”

彼らを目にしたとき、私は彼らの礼 を に入り、彼らの宗教に 味をもちました。私は（自分自身に）こう言いました。“神に誓って、この宗教は私たちのものよりも れているものだ。”

神に誓って、私は日没までそこに居 けました。私は父の には行きませんでした。

私は（教会の人々に） ねました。“この宗教はどこ由来なのですか？”

“彼らは言いました。‘アツ=シャ 46だ。’

私は、私のことを心配し、使いを送ってきた父の元に りました。私が到着すると、彼は言いました。‘息子よ！ 一体どこに行っていたのだ？ 私はお前に仕事を任せてはいなかったか？’

私は言いました。“父よ、私は教会で祈る人々に通りがかり、彼らの宗教を に入りました。神に誓って、私は日没まで彼らの元に留まっていたました。”

父は言いました。“息子よ！

その宗教に良いところは何もない。お前とお前の父祖の宗教はより れているのだ。’”

“いいえ。神に誓って、あれは我々の宗教よりも れています。”

彼は私をし、足にをかけ、家にじめました。私はキリスト教徒たちに手を送り、もしキリスト教徒の商がアツ＝シャムから到着したら教えてくれるよう要しました。商が到着すると、彼らは私に告げてくれたため、私は彼ら（キリスト教徒たち）に商の人々が商取引をえ、彼らの国にるときが来たらまた教えてくれるようみました。私は彼らから（に）その通知を受け、アツ＝シャムの人々は国にるをしていたため、私は足のを外し、（商に）加わってアツ＝シャムまで旅をしました。

到着、私はねました。“（あなたの）この宗教における最善の人々はですか？”

彼らは言いました。“司教だ。（彼は）教会にいる。”

私は彼の元へ行き、言いました。“私はこの宗教が好きです。私はあなたから学び、あなたと共に礼をする事が出来るようになるよう、あなたと留まり、あなたの教会に奉仕したいと思います。”

彼は言いました。“ここに入り、私と一に留まることを可しよう。”

こうして、私は彼の教会に入りました。

サルマンはしばらくつと、には司教が人であり、人々に喜をうよう求めつつも、それを自分自身のために蓄えていたことをします。彼は者に分け与えたりはせず、7つものに金をめていました。サルマンはけます：

彼の行いから、私は彼を蔑しました。

彼（司教）は死にました。キリスト教徒たちは彼を埋葬するため集合しました。私は彼らに、彼が自分自身の蓄えのために人々に喜を促し、それらを全く者に分け与えはしなかった人であったことを告げました。彼らは言いました。“どうしてそのことを知ったのだ？”

私は答えました。“彼のをおせしましょう。”

彼らは言いました。“せなさい!”

私は彼の（蓄えていた）所を示し、彼らは金のつまった7つのを回しました。それらをた彼らはこう言いました。“神に誓って、我々はに彼を埋葬したりはしない。”そして彼らは彼を十字架にはりつけにし、投石したのです。[7](#)

彼らは新しい司教を任命しました。私は彼（新司教）よりもれた礼をする人物を目にしたことはありませんでした。また、彼よりも世かられ、来世に重きを置く人物、または昼夜に渡ってき通した人物をたことはありませんでした。私は彼を、それまでしたよりもしました。

私は彼が亡くなるまでの期を彼とごしました。彼の死が近づいたとき、私は彼に言いました。“私はあなたと留まり、それまでしたよりもあなたをしました。神の定め（死）がもたらされる今、あなたはを（私が一にごすことを）め、何を私に命じますか?”

司教は言いました。“神に誓って!

人々は完全に道を失っている。彼らは自分たちの宗教をねじ曲げ、えてしまった。

私は、モスル

の男よりも私たちの宗教に依然として留まっている人物を知らない。それゆえ、彼と共にあるのだ（そして彼は彼の名を教えてくださいました）。”

彼が亡くなると、サルマンはモスルへ行き、彼のめた人物と出会いました。

私は彼に言いました。“（ある人物が）死の床で私に、あなたと共にあることを私にめました。彼はあなたが（我々と同じ宗教に）留まりけていると教えてくださいました。”私は彼と留まり、彼が人々の中でも最善の人物であることを出しました。

やがて彼も亡くなりました。死が近づいたとき、サルマンは（それまでと同じように）同じ宗教に留まっているの人物を助言してくれるよう彼に頼みました。

男性は言いました。“神に誓って！ 私はナスィビン<sup>9</sup>の人物以外に、私たちと同じ（宗教）に留まっている人物を知らない。彼の名前は（何某である）。彼の元へ行き、彼と共にありなさい。”

彼に死が来ると、私はナスィビンの男性の元へと旅しました。”  
サルマンはその人物を見つけ、彼のもとにしばらく留まりました。そしてそれまでと同じことが起きました。彼に死が近づき、彼が死ぬ前にサルマンは、どこかへ行くべきか助言を求めました。男性は、サルマンが同じ宗教に留まっている、アマリア<sup>10</sup>の男性の所へ行くよう助言しました。

彼の死、サルマンはアマリアに移しました。彼は助言通りの人物を見つけ、彼に加わりました。サルマンは、何匹かの牛と一匹の羊を手に入れました。”

アマリアの男にも死が近づきました。サルマンは助言を求めましたが、（今回の）答えは異なるものでした。

男は言いました。“息子よ！  
私たちの留まる宗教に留まっている者を私は知らない。しかし、あなたの生きている間に言者が来るが、この言者はアブラハムと同じ宗教に留まっている者である。”

男はこの言者についてこう明しました。“彼はアブラハムと同じ宗教によって遣わされる。彼はアラビアの土地から来て、（火で焼かれたような）石に刻まれた2つの土地の間に移住するであろう。これら2つの土地の間にはヤシの木が生い茂っている。彼は特定のしるしから判断することが可能である。彼は肉物の食べ物を受け入れて食べるが、喜ばない。彼の肩の間には言者の封印がある。その土地に行くことが出来

るなら、そうしなさい。”

---

## Footnotes:

1 アル=ハイサミ がマジユマア アル=ザワ イドの中で している 承。

[1] イスファハン： 在のイラン北西部の地域。

[2] 彼の父は火を崇 するマジ教徒でした。

6 アッ=シャ ム： 在のレバノン、シリア、パレスチナ、ヨルダンを含む地域全体を指す言 。

7

ここで言及すべき重要な点として、サルマ ンは当 、真 の道であると思っていたものから一人の行 によって背き去り かったことが げられます。彼は、“これらのキリスト教徒を よ！ 彼らの最善の者は 人ではないか！” などとは言いませんでした。彼は宗教の追 者たちではなく、信条からその宗教を すべきことを理解していたのです。

8 イラク北西部の主要都市。

9 ナスイ ビ ン： ム スルとアッ=シャ ムをつなぐ道の途中にある都市。

1 ロ マ帝国の 部にあった町。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/580>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。